

【会議録（要約筆記）】

■案件名：信越病院

■会議名：第2回 信濃町立病院再整備基本計画策定委員会

■日時：2020年7月17日(金) 15:30～17:05

■場所：信濃町役場第1・2会議室

■参加者

委員：[医療及び福祉等に識見を有する者]

小松仁、丸山弘之

[公共的団体等の代表者又は構成員]

池田昭二郎、北村勇、高力一浩、原山公平

[公募委員]

出浦洋子

[学識経験者]

松村修

(※五十音順：敬称略)

事務局：横川正知（町長）、森茂樹（信越病院長）、外谷場佳子（信越病院事務長）、北村勝博（同事務局総務係長）

シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社：山崎康一郎、高田三四郎

1. 開会

2. 挨拶

- ・松村委員長より挨拶を行った。
- ・丸山委員より自己紹介を行った。
- ・委員会の要約会議録の公開について承認を得た。
- ・委員以外の傍聴について承認を得た。
- ・委員会の進め方について確認を行った。

3. 会議事項

(1) 第1回委員会での質問事項等について

【前回委員会での質問・意見に対する回答】

病院事務局より、質問・意見に対する回答資料を用いて説明を行った。

【意見聴取及び質疑応答】

資料の説明を受け、意見聴取及び質疑応答を行った。以下に内容をまとめる。

- ・旧柏原小学校跡地の周辺道路は坂となっているところが多い。特に一茶記念館前の道路では、お年寄りの方が転倒している。この点について十分に考慮された設計をお願いする。
- ・病院職員の働きやすい環境をつくることが重要だと考える。これまでに院内での検討やヒアリングを実施したことはあるのか。
 - ▶今後ヒアリングをする予定である。

- ▶ヒアリングの内容や結果を知ることができるのか。把握した上で、検討をしたい。
- ▶今のところ提示する予定はない。
- ・病院あり方検討委員会では、病院職員の意見や検討について反映されているのか。
 - ▶係長や主任クラスの職員を中心に院内で検討を行い、答申書に反映されている。当時は、病院規模や機能についての議論であり、働きやすい環境については、検討していない。病院職員が働きやすい環境については、方針にも明記しており、検討する予定である。

(2) 新病院の基本理念及び基本方針について

【基本理念・方針の説明】

病院事務局より、基本理念・方針についての資料を用いて説明を行った。

【意見聴取及び質疑応答】

病院事務局より、質問・意見に対する回答資料を用いて説明を行った。

- ・病院あり方検討委員会の時にも、基本理念及び方針をリニューアルしたが、内容が随分と変わっている。
 - ▶病院あり方検討委員会の内容をベースにしている。理念は1つにまとめ、方針を7つとした。多少表現は、修正しているが伝えたい想いの部分是一緒である。
 - ▶基本理念と基本方針は企業にとっては、顔であり、職員にとっても意志高揚の一つの要因となる。分かりやすくなった。
- ・病院あり方検討委員会で当時、検討していた内容は、ほぼ網羅されている。理念については、「愛される」という言葉を入れることが印象的であった。理念に入れてはどうか。また、方針に記載されている予防医療についての文言は、これからの医療のあり方としても重要であるため非常に良い。表現を「通して」ではなく「進めていって」にしてはどうか。さらに「医療環境の変化に柔軟な対応ができる施設とします」についても、少子化や直近の新型コロナウイルスのこともあり、良い文言だと考える。
- ・今回説明した理念・方針は、まだ決定したものではない。これからの再整備計画、病院運営に関わることなので皆様の意見をいただき参考にしていきたい。
- ・病院が提供する予防医療について分からない。病院は、病気になってから診察や治療をしに行く認識が強い。
 - ▶予防接種や人間ドック、健康診断が病院の提供する予防医療に該当する。その他にも、医師や看護師による健康講座を開催している。
- ・患者というより、町民という言葉を採用した方がいいのではないか。また、急性期ではなく慢性期として、保健分野との協力が必要になる。保健分野との連携を進める上で、予防医療を推進していくなどの文言も検討してほしい。
 - ▶患者と町民という言葉については、言葉の定義の扱いが難しいと感じている。町民という言葉にすると、近隣の方からすれば町民ではないため、あえて患者という言葉にしている。その他いただいたご意見は、検討していく。

(3) 病院整備基本計画への意見の検討について

委員会として町長へ提言する意見について、取りまとめを行った。以下に取りまとめた内容をまとめる。

- ・病院事務局より説明された質問・意見に対する回答資料に基づき、提言する意見を取りまとめていく。

【委員からの意見について】

- ・介護の部分については、第8期介護保健事業計画が来年度から3年間の計画を策定する。制度上、介護療養病床は、廃止となるが、代替施設・サービスを含め町としての検討となる。病院としては、計画の中の一旦として参画する。委員会に介護事業関係者の参加とあるが、この委員会では、そこまでの対応は、できないと考える。
- ・看多機の整備について経営は民間が行うのか、町が経営を行うのか。整備方法をどのように考えているのか。
 - ▶民間での経営を考えている。町が直営している施設は少ない。
- ・地域包括ケアシステムの構築にあたって、介護事業と病院との連携は不可欠だと考える。例えば病院が提供している在宅医療（往診など）はどのような体制で指示系統はどうなっているのか。整っていないとすれば、現状のやり方で連携するのは難しいと考える。
- ・医療と介護の2種類の往診があり、主治医制としている。各主治医が各担当患者の往診を行っている。また訪問看護については、専属の部署と専属の看護師を配置している。その専属の看護師やケアマネジャーがスケジュール調整を行い、実施をしている。
 - ▶看多機が整備された場合、病院との連携がスムーズにできるのか不安である。病院が再整備された後に、スムーズに連携ができるか。各医師が独立して対応していると連携は難しい。
 - ▶スタッフの声を参考に回答する。医師に限れば、必要に応じて指示を行っている。訪問看護ステーションもあり、介護保険のサービスを使用している。そういったサービスをうまく回すために週1回の会議を実施、調整を行っていると聞いている。最初は、スムーズにいかないかもしれないが、患者の為に連携がうまくいくように努力していきたい。
- ・具体的な方向性がない中で療養病床の廃止はとても不安に感じる。町立病院で廃止するのであれば、町が主体となって受け皿について具体的な検討をしてほしい。
 - ▶介護医療病床は町が廃止するのではなく、法律で廃止される。信越病院がどうあるべきかについて、一般病床と医療療養病床の52床にした理由として、病院経営を続けていかなければいけないことを前提にしている。町の医療を存続するためには、信越病院を残さなければならない。廃止となる介護療養25床の受け皿については今後3年の間に検討しなければいけない。第8期の介護保険事業計画の検討項目の1つとして看多機を紹介している。町として、いただいている課題について真剣に

考えていくことが必要だと認識している。

- ・おらが庵や看多機、地域の関係機関などと病院の連携が肝になる。これから何十年老いていく中で、安心できるよう計画をしてほしい。
 - ▶地域包括ケアシステムの構築と連携については、信濃町だけでなく、地域全体として重要な話である。どう進めていくのか、どう充実させていくのか、方向性が具体的であるものになるよう進めていきたい。
- ・病院あり方検討委員会で実施した町民アンケートに町民ボランティアを病院運営に採用することや職員の専門化、若い看護師の誘致について議論する機会はあるのか。
 - ▶運営会議にて協議をしていただき、内容・結果を挙げていただければと考える。

4. その他

【次回及び次々回の委員会開催日程今後の委員会開催日程について】

・第3回委員会

日時 8月4日(火) 午後3時30分から

場所 総合会館2階 大ホール

・第4回委員会

日時 8月21日(金) 午後3時30分から

場所 役場 第1会議室

【第2回委員会を踏まえた意見・質問について】

- ・7月22日までに事務局へ意見・質問の提示をお願いする。提示方法については、自由とする。

5. 閉会

以上